

平成22年3月10日

四国地方整備局

土佐国道事務所

おおはし
「いの大橋」に決定！

～国道33号高知西バイパスの仁淀川に架かる橋～

平成22年2月1日から平成22年2月26日まで募集した国道33号高知西バイパスの新仁淀川橋（仮称）の名称について、新仁淀川橋（仮称）名称検討委員会（平成22年3月4日開催）において応募結果を踏まえて検討し、この度、以下のとおり決定しました。

名称：「いのおおはし大橋」

たくさんのご応募、ありがとうございました。

【応募結果概要】

- ・応募総数：184件（Eメール63件、応募用紙等121件）
- ・応募内容、応募者の属性等については別紙1～3のとおり

【議事要旨】

- ・「いの」という地名を入れた方がよい。
- ・「～橋」という呼称よりも、当橋梁の規模を鑑みると「～大橋」と名付けた方がよい。

今後も全線供用に向けて、引き続き事業を進めて参ります。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取組に関連します。

（お問い合わせ先）○主な問い合わせ先

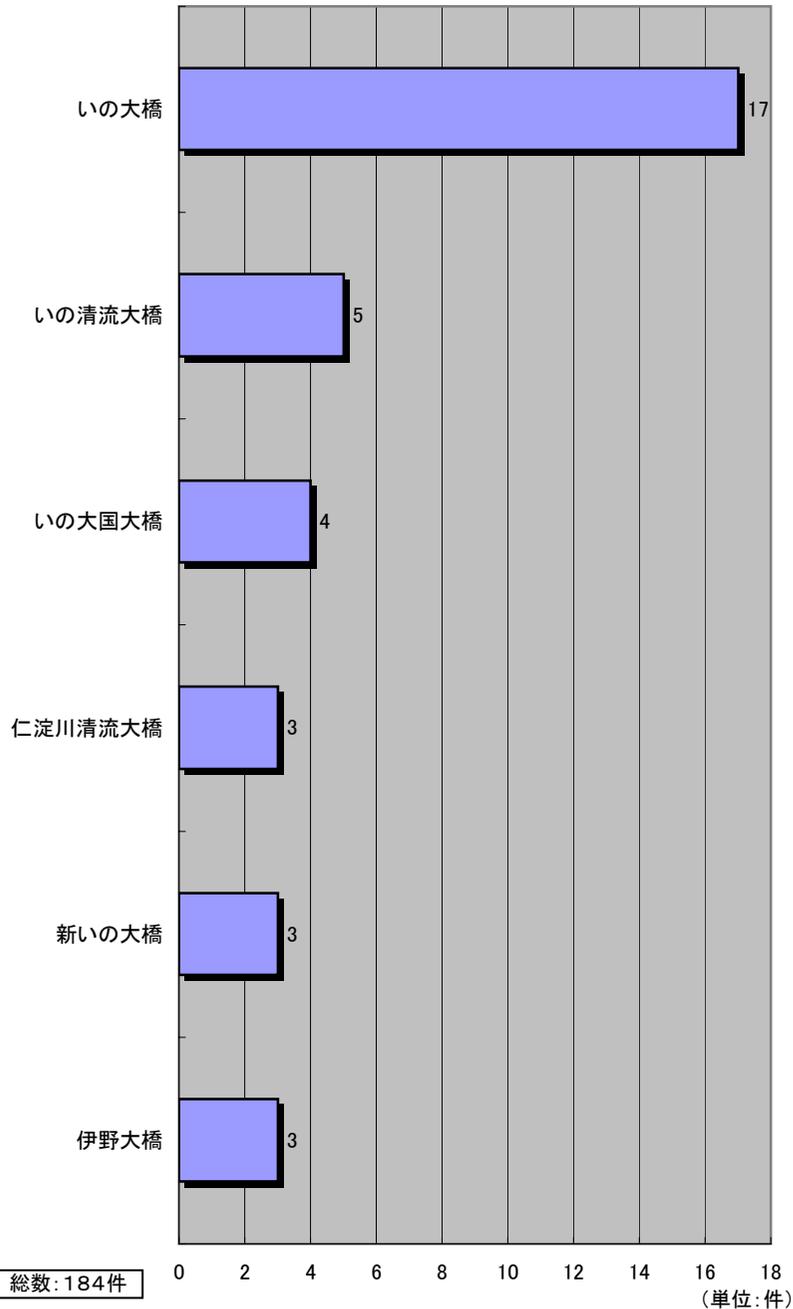
国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所

電話（088）884-0359（代表）

副所長（改築）
こうの いちろう
河野 一郎（内線204）

○計画課長
なかがわ としまさ
中川 敏正（内線261）

応募名称のトップ6ランキング



【主な意見】

(いの大橋)

- ・いの町の行政、経済の中心である町役場の所在地に架かる大橋であり、且つ町内の橋の代表に相応しい構造と風格を備えた大橋である。町名と同じいのと言う名称を付けることにより、将来に渡り経済、行政、地理的分野においていの町の象徴となる事が期待できる。
- ・地元の名前が入っていると他の市町村の人にも分かりやすい。

(いの清流大橋)

- ・いのは四万十に負けない位綺麗な水が流れて景色も川もすばらしいと思います。
- ・やっぱり天神・鎌田の自治体「いの」を入れたかった。そして、仁淀川と言えば、四万十川にも負けない「清流」。シンプルなので、県内、地域の人はもちろん高齢者や県外の人にもわかりやすいと思います。

(いの大国大橋)

- ・いの町仁淀川に架かる大橋と言えば橋のたもとで高知県で有名な杉本神社の大祭(いののお大国様)があります。
- ・いの町に架かっている橋といのは古くから大国様が有名である。

(仁淀川清流大橋)

- ・大切な仁淀川を汚さず、いつまでもきれいな清流であってほしい。清流仁淀川のイメージとなるように！！
- ・仁淀川は、水質の良い河川ランキングで、毎回上位を占めており、橋と清流仁淀川が溶け合って、清流を見守ってほしい。

(新しい大橋)

- ・合併して「いの町」になってできる橋としてふさわしいと感じ、いのの発展を願って。
- ・いの町に新しく出来た橋だから。

(伊野大橋)

- ・紙の伊野町と全国的にも知られているので、町のどこかに漢字の伊野を残したい。
- ・いの町と町名が替わり、「伊野」の地名が消えた。旧伊野町民は、「伊野」に郷愁を感じて居り、多くの人々の賛同を得られるのではないか。旧伊野町のほぼ真ん中を横断し存在する事は、道案内の道標(みちしるべ)として呼称され、町外の人達にも親しまれると思う。

その他の応募名称の一部をご紹介します

(紙のまち大橋)

・仁淀川の清流によって作られる「土佐和紙」が有名な「いの町」に架かる橋だから、その橋を通る人たちに一目で「和紙が有名なのだ」と思ってもらえるように。

(清流幸福橋)

・この橋を渡れば幸せになれるという新名所になれば良いと思いました。

(天ノ川大橋)

・天神地区と川内地区を結ぶ橋であり、澄んだ仁淀川に星が映ったら天ノ川のように美しいだろうと思ったから。

(鮎遊橋)

・鮎が橋の下で遊んでいるようなイメージで考えました。昨年、仁淀川町に行った際、仁淀川の鮎が気持ちよさそうに、悠々と泳いでいるのを見ました。仁淀川の鮎は仁淀川町の宝であり、高知県の宝でもあります。この橋を県内外から多くの方が利用して、老若男女に覚えて頂きやすい名前として考えました。

(いの七色大橋)

・いの町は七色紙の発祥地です。紙で栄えた「いの町」、紙のこいのぼりの様に全国区に！！

(さんさん伊野大橋)

・仁淀川の川面に反射する太陽の光と国道33号線のバイパスとをかけて”さんさん”とし、旧伊野町の漢字を残したいと思い”伊野大橋”としました。

(いの信頼橋)

・橋の上でみんなが仲良くなったりして、みんな一人一人が信じ合えたり、頼れるような、そんなふれあいがある橋になるといいなと思ってこの名前にしました。

(いの龍馬橋)

・いの町発展の為と今年は高知県が龍馬ブームですので、大河ドラマ龍馬伝の龍馬の渡し船に乗かって(縁起を担いで)考えました。

(せせらぎ橋)

・橋を渡ると眼下に紙の鯉のぼりが泳ぎ鮎が踊り、清らかな流れの仁淀川の水音(せせらぎ)が聞こえ思い浮かぶそういう情景をイメージしました。

(希望の橋)

・これからの全ての発展に期待して。

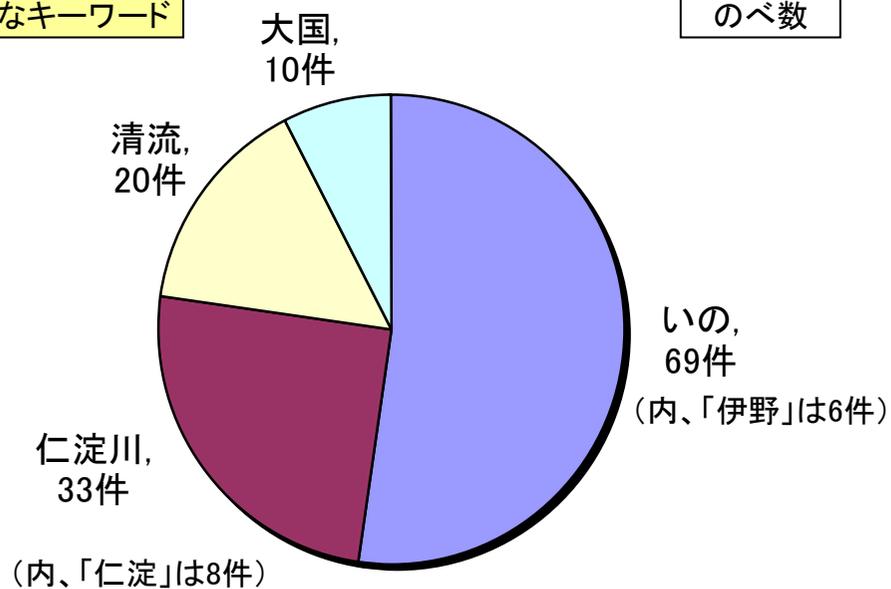
(紙漉橋)

・いの町は紙で有名な町であり紙を製造する際には水は欠かせません。水の流れる仁淀川に架かる橋であるため紙漉の名称がふさわしいと思います。

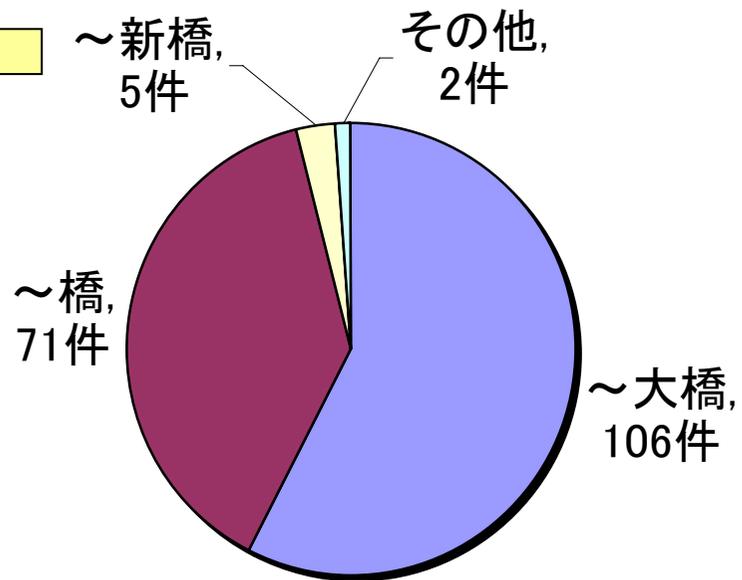
別紙3 主なキーワードと応募者の属性

主なキーワード

のべ数

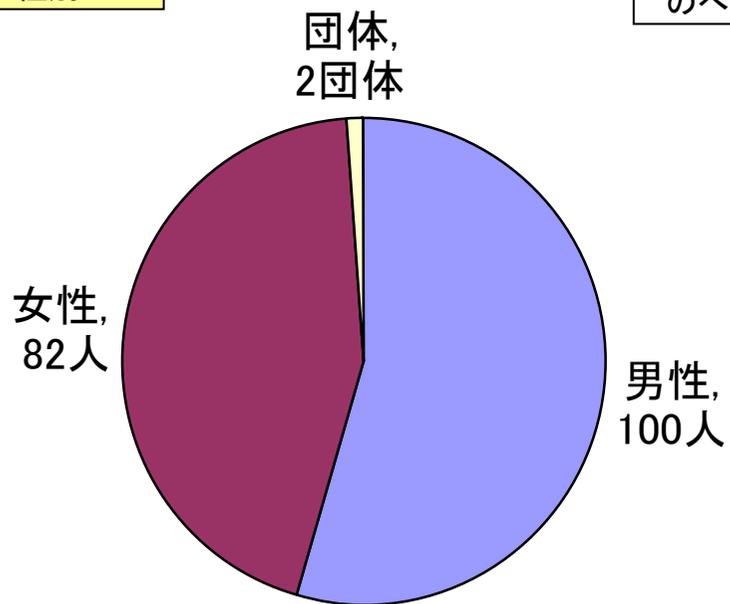


橋の語尾



性別

のべ数



年齢

のべ数

